

災害時の外国人支援に関する研修

1. 研修プログラム

プログラム A (入門研修) 災害時の外国人支援の現状と課題について学ぶ	
対 象	災害時外国人支援ボランティアや一般市民等
所要時間	2 時間半程度
プログラム	講 義：「災害時における外国人支援の現状と課題」 内 容：新潟県中越沖地震や東日本大震災の実践を通して、災害時における外国人支援の現状と課題について話します。
	ワークショップ：今後、地域で求められること 内 容：基本講義の内容を踏まえ、参加者同士の意見交換をしながら、今後地域で求められる取り組みについて考えます。
お 勧 め ポイント	これから災害時の外国人支援を考える方や外国人支援ボランティアの育成を考えておられる方にお勧めです。 また、シンポジウムへのアレンジや他のイベントとの組み合わせも可能です。

プログラム B (専門研修) 災害多言語支援センターの設置・運営	
対 象	「災害時外国人支援に関する協定」が締結された地域、もしくは協定を検討中、災害多言語支援センターの設置を検討している地域の関係組織(国際施策担当課、防災危機管理担当課、国際交流協会、NPO 団体)の職員等
所要時間	3 時間
プログラム	グループワーク①： 内 容：「災害時の外国人被災者支援に関する協定」の解説及び関係者の役割を確認します。
	講 義：「災害多言語支援センターとは」 内 容：災害多言語支援センターの役割、仕組み等について事例を通して考えます。
	グループワーク②： 内 容：災害時協定による関係者の役割を具体的に考えます。
	ふりかえり、終了：今後の課題、備えについて考えます。
お 勧 め ポイント	災害時外国人支援の体制づくりを検討している方や具体的な支援体制整備を検討しておられる方にお勧めです。協定書や地域の防災計画などを確認しながら、課題を整理していきます。

プログラムC 外国人住民を対象とした防災ワークショップ	
対 象	地域の日本語教室の参加者や外国人住民等
所要時間	2 時間程度
プログラム	講 義：「外国人住民が災害時にこうなっていた」 内 容：新潟県中越沖地震や東日本大震災の現場における活動を通して、外国人ならではの課題や葛藤、様々な気づきについて話します。
	ワークショップ：やさしい日本語で防災について学ぼう 内 容：ハザードマップで自宅や職場の最寄の避難場を見つけたり、日頃からできる準備、更には自分たちができる役割等について学びます。
お 勧 め ポイント	やさしい日本語、中国語による進行可能、災害時外国人支援活動経験のある講師（外国出身）の話は参加者によく伝わります。

プログラムD 災害多言語支援センター設置運営訓練（避難所巡回型）			
対 象	行政職員（国際課、多文化共生課、防災課、危機管理課、国際交流協会、NPO 団体）、災害時ボランティア、一般市民等		
所要時間	5.5 時間（*この訓練を実施する際、前記の事前研修が必要です。）		
プログラム	次の通りです。		
	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> （多言語支援センター側会場） 多言語支援センター設置運営訓練 （所要時間：5.5 時間） </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> （避難所側会場） 外国人住民向け防災セミナー （所要時間：4.5 時間） </td> </tr> </table>	（多言語支援センター側会場） 多言語支援センター設置運営訓練 （所要時間：5.5 時間）	（避難所側会場） 外国人住民向け防災セミナー （所要時間：4.5 時間）
（多言語支援センター側会場） 多言語支援センター設置運営訓練 （所要時間：5.5 時間）	（避難所側会場） 外国人住民向け防災セミナー （所要時間：4.5 時間）		
11:00	主催者挨拶		
11:15	講義「災害多言語支援センターって何？」		
11:45	フェース 1：災害多言語支援センター開設準備 昼休憩を兼ねて非常食体験		
14:00	フェース 2：情報収集、多言語への翻訳作業		
14:30	フェース 3：避難所巡回		
15:00	フェース 4：情報共有、引継ぎ		
16:00	振り返りとまとめ		
16:30	終了		
11:00	受付		
11:20	防災講義		
12:00	非常食体験		
13:00	防災講習		
14:30	避難所巡回訓練の手伝い		
15:00	振り返りとまとめ		
15:30	終了		
お勧め ポイント	講義で学んだ知識を活かし、災害時多言語支援センターの設置運営に関する方ノウハウを体験型で学べます。		

2. 講師

新潟県中越沖地震、東日本大震の際、外国人支援活動に関した実践者の講師を派遣いたします。お気軽にご相談ください。

3. 研修の風景



講義の様子



職員向けワークショップの様子



避難所巡回の様子



外国人向けワークショップの様子

4. 経費

コーディネート料：27,000円/1時間（税込）
往復の交通費のご負担をお願いします。
（※ご予算については、お気軽にご相談ください。）

5. 問い合わせ先

（特活）多文化共生マネージャー全国協議会（NPO タブマネ） 事務局
メール：tabumane.toki@gmail.com 電話：06-6195-8890
住所：〒532-0023 大阪市淀川区十三（じゅうそう）東 2-6-7 徳島ビル 2F
ブログ：<http://blog.canpan.info/tabumane>